

株式会社ブロードバンドセキュリティ
2020年6月期 第3四半期決算説明資料



2020年5月13日

2020年6月期 第3四半期 業績サマリー

トピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

2020年6月期 第3四半期 業績サマリー



トピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

業績サマリー

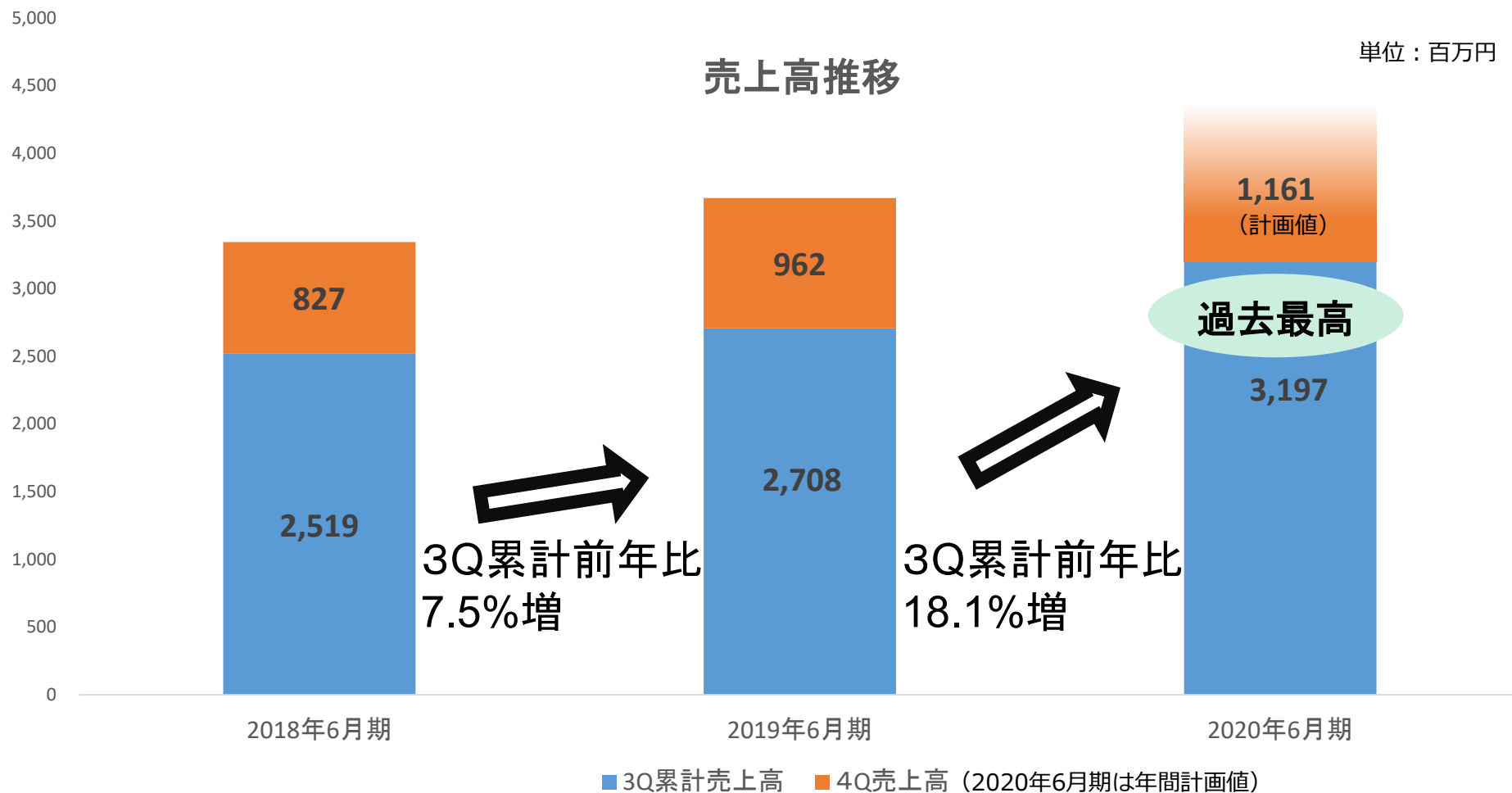
前年同期比+18.1%の増収により労務費・人件費等の増加を吸収。
純利益ベースでは+880.2%の大幅増益。

過去最高

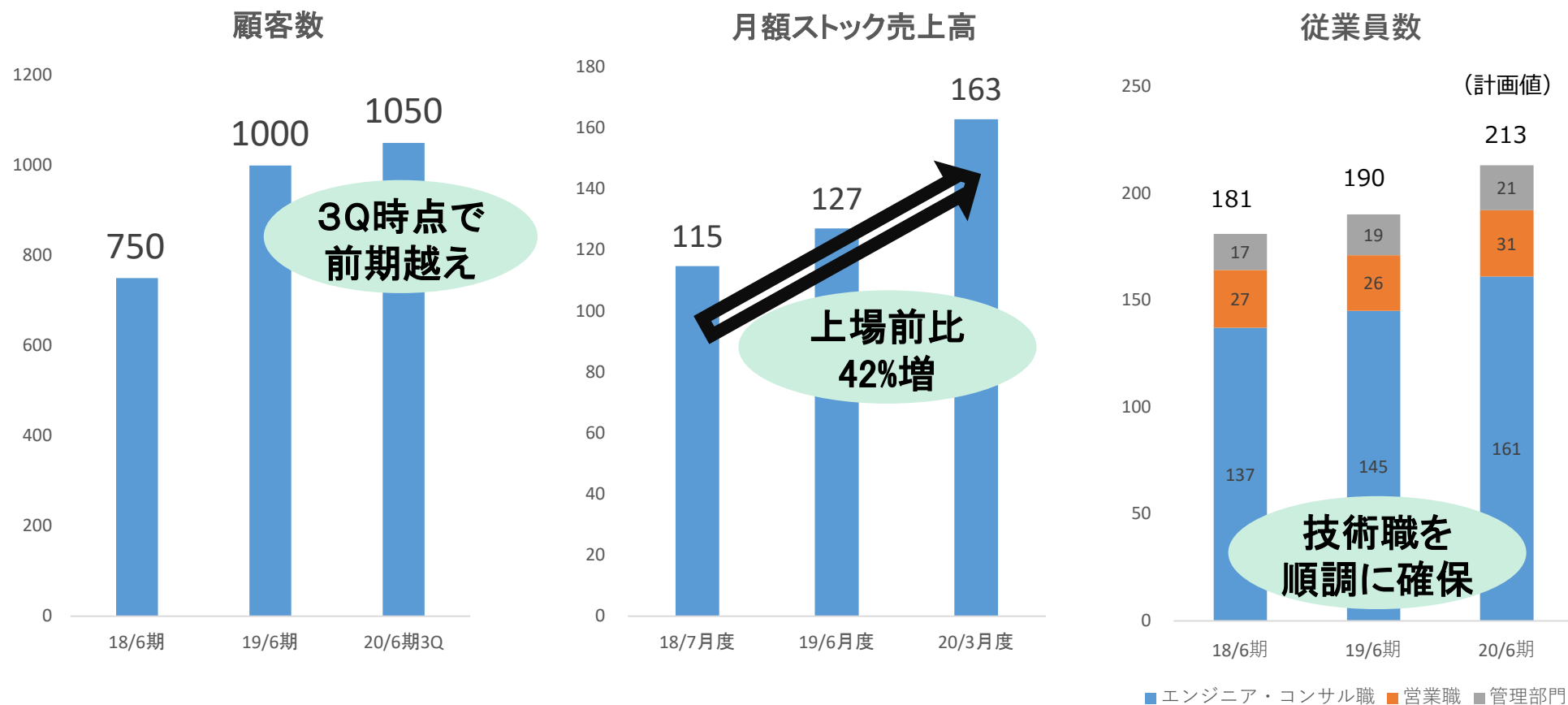
単位：百万円

科目	2019年6月期 3Q累計実績	2020年6月期 3Q累計実績	前年同期比		2020年6月期 通期計画	対通期 進捗率
			増減	増減率		
売上高	2,708	3,197	+489	+18.1%	4,358	73.4%
セキュリティ監査・コンサル	537	501	△ 35	△6.7%	759	66.0%
脆弱性診断	813	1,131	+318	+39.1%	1,400	80.8%
情報漏えいIT対策	1,357	1,563	+206	+15.2%	2,198	71.1%
売上原価	2,088	2,241	+152	+7.3%	3,163	70.9%
販売費及び一般管理費	548	670	+122	+22.4%	894	74.9%
営業利益	71	285	+214	+301.1%	300	95.0%
売上高営業利益率	2.6%	8.9%	+6.3p		6.9%	
経常利益	29	262	+233	+785.7%	278	94.2%
売上高経常利益率	1.1%	8.2%	+7.1p		6.4%	
当期純利益	20	197	+177	+880.2%	182	108.2%

3Q累計として過去最高の売上高を計上

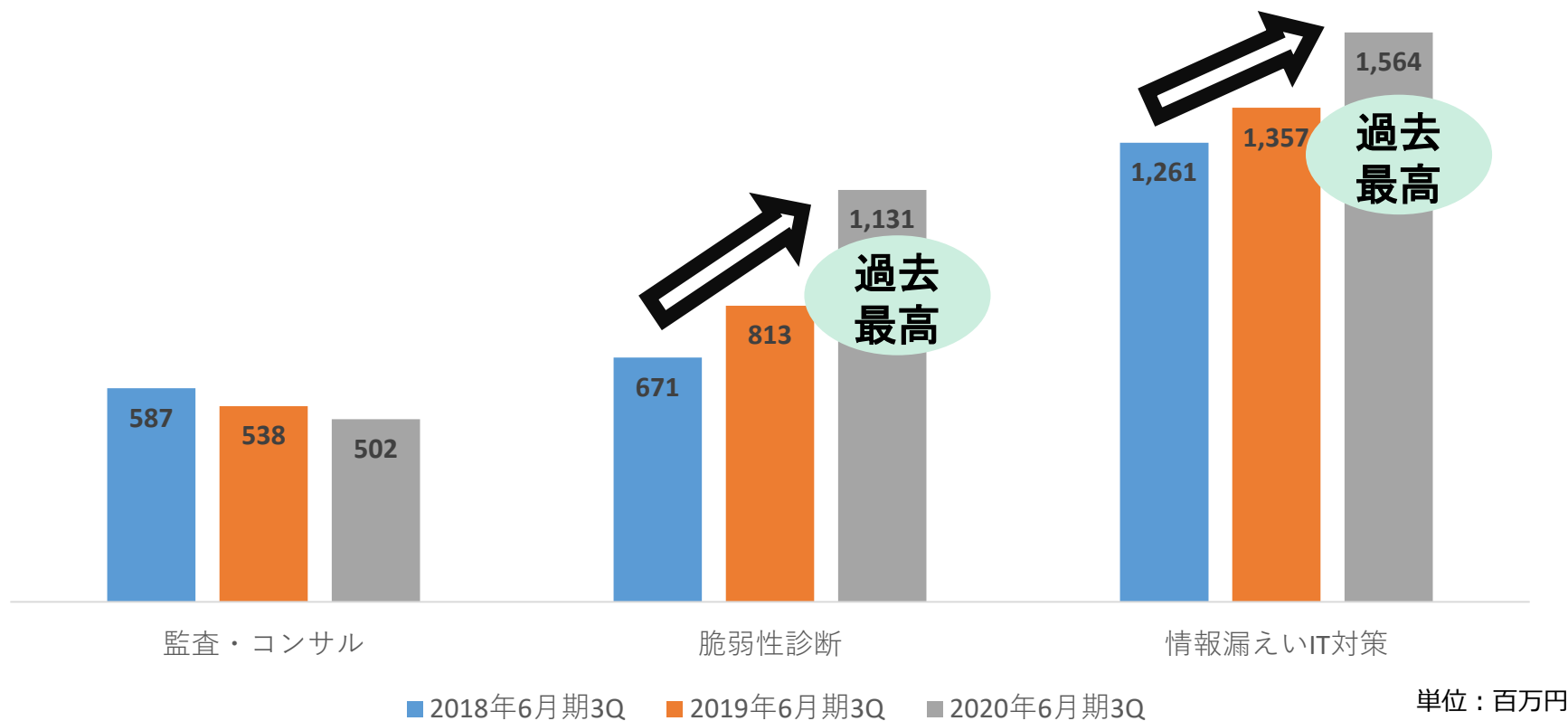


顧客数、月額ストック売上高、従業員数も順調に推移



サービス区分別売上高推移

脆弱性診断および情報漏えいIT対策が大幅増収。
サイバー攻撃増加に伴うフォレンジック（事故対応）案件増加。
テレワークの増加等に伴うコンサル案件も受注増加傾向。



脆弱性診断案件の急増に対し、AIによる自動化および繁忙期コントロール等のキャパシティ拡大が奏功し収益性高まる。

() 内数値は前年同期比
単位：百万円

売上高	セキュリティ監査・コンサルティング	前年度の反動でクレジットカード業界向け(△92) テレワーク増加等に伴うアドバイス等の一般向け(+56)
	脆弱性診断	SI事業者等からの一括受注案件が増大。 加えて繁忙期のコントロールにより、キャパシティ拡大。(+318)
	情報漏えいIT対策	継続系サービス増 (セグメント内の売上比率75.0%)。サイバー攻撃増に伴うフォレンジック (緊急駆け付け) 案件増も寄与。(+206)
営業利益	労務費増 (+118) 等による原価増 (+152)、人件費増 (+71) 採用手数料等 (+25) による販管費増 (+122) があったものの、上記増収でカバーし、営業利益増 (+214)	
経常利益	前期のIPO関連費用の減 (△22)、為替差損増等	
当期純利益	法人税等調整額の税効果会計の影響を加えても、当期純利益は大幅増 (+177)	

利益剰余金の積み上げにより、健全な財務基盤を維持。

単位：百万円

科目	2019年6月期 末	2020年6月期 3Q	前期末比	科目別増減ポイント
流動資産	1,507	1,597	106.0%	
うち現預金	706	640	90.7%	
固定資産	1,051	1,187	112.9%	ソフトウェア仮勘定増加+85、リース資産+68
資産合計	2,558	2,785	108.8%	
流動負債	1,108	1,136	102.5%	短期借入+100
固定負債	631	646	102.3%	長期借入▲46、長期リース債務+37、長期前受収益+18
負債合計	1,739	1,782	102.5%	
純資産合計	818	1,002	122.4%	利益剰余金増+197
(自己資本比率)	32.0%	36.0%	+4.0p	

2020年6月期予想（2019.7.19発表内容から変更なし）

新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に判断できるまで、当初予想を据え置き。

単位：百万円

科目	2019年6月期 通期実績	2020年6月期 通期予想	前年同期比	
			差異	増減率
売上高	3,670	4,358	687	+18.7%
セキュリティ監査・コンサル	726	759	32	+4.4%
脆弱性診断	1,096	1,400	303	+27.7%
情報漏えいIT対策	1,847	2,198	351	+19.0%
売上原価	2,823	3,163	340	+12.1%
販売費及び一般管理費	727	894	167	+23.0%
営業利益	120	300	179	+148.4%
売上高営業利益率	3.3%	6.9%	+3.6p	-
経常利益	73	278	205	+281.4%
売上高経常利益率	2.0%	6.4%	+4.4p	-
当期純利益	59	182	122	+204.5%

2020年6月期 第3四半期 業績サマリー

トピックスのご紹介



株式会社ブロードバンドセキュリティについて

トピックスのご紹介

2020年1月以降の主なニュースリリース

- 1月 タイにおける合併会社設立、営業開始
- 2月 無線LAN調査サービスを開始
- 3月 自己株式取得に係る事項の決定
- 4月 「テレワークにおける情報セキュリティ上の考慮事項」資料公開
- 4月 キヤノンMJの「EDR運用監視サービス」に当社マネージドセキュリティサービス採用

タイにおける合併会社設立（2020.1.21）

アジアNo.1のクレジットカードセキュリティプロバイダを目指して、タイで情報セキュリティに関する各種トレーニング、コンサルティングを行っているWisdom Centerと、合併会社を設立、正式に営業を開始しました。既にSUPERNAP Thailand社およびTrue IDC社等の現地大手企業との契約を締結しており、その他の大手企業とも取引が進行しております。

合併会社の概要

(1) 名称	BroadBand Security Assessment(Thailand) Company Limited
(2) 所在地	No. 77/177 Sinn Sathorn Tower, Floor 39, Krung Thonburi Road, Khlong Ton Sai Sub-district, Khlong San District, Bangkok Mahanakorn 10600
(3) 代表者	Arsira Kawaree
(4) 事業内容	PCI DSS に係る諸事業 邦人企業向けテクニカルアセスメント、PDPA リスクアセスメント
(5) 資本金	400 万 THB (邦貨概算 1,400 万円 タイ国出資法に基づく運用)
(6) 設立年月日	2020 年 1 月 3 日
(7) 出資比率	当社 49%、Wisdom Center および第三者株主合計 51%

調印式の模様



無線LAN調査サービスを開始（2020.2.10）

企業等の業務を行うワーキング環境において、「盗聴」「なりすまし」「不正アクセスによる情報漏えい」などのセキュリティリスクを生み出す無線LANのリスクを検証する「無線LAN調査サービス」をより開始。

<サービスのポイント>

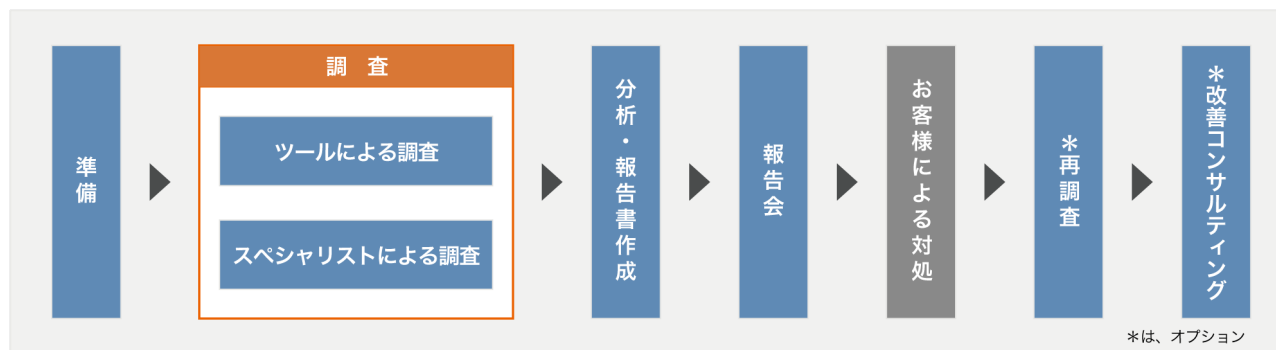
1.精度の高い無線LAN調査

セキュリティの専門家による調査により、不審な無線LANの可視化に加え、見落としがちな暗号化強度が弱い正規の無線LANも含め、全体像を把握することができます。

2.調査後の、次の一手につながるオプションサービスを提供

調査終了後に、改善策を実施した場合、それが効果を発揮しているかを再調査するオプションサービス、自社にノウハウがなく対応できない場合の改善プランを支援するコンサルティングサービス等を準備し、お客様の無線LAN環境の安全性確保を支援いたします。

<サービスの流れ>



自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ（2020.3.13）

背景：当期の業績予想や当社株式の市場価格、財務状況等を総合的に勘案

目的：機動的な資本政策の遂行及び資本効率の向上

内容：

- | | |
|----------------------|---|
| （1）取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| （2）取得し得る株式の総数 | 150,000株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合3.76%） |
| （3）株式の取得価額の総額 | 150,000,000円（上限） |
| （4）取得期間 | 2020年3月18日から2020年5月31日 |

ご参考）上記決議に基づき取得した自己株式の累計（2020年4月30日現在）

- | | |
|----------------------|--------------------|
| （1）取得した株式の総数 | 91,900株 |
| （2）株式の取得価格の総額 | 97,760,300円 |

「テレワークにおける情報セキュリティ上の考慮事項」資料公開（2020.4.20）

テレワークの急速な拡大に伴い、セキュリティインシデント（事故）の発生及びその対応要望が増加しております。

その発生頻度は、今後益々拡大することが予想されるため、皆様に注意喚起を促すことを目的として、情報セキュリティ上、ご留意いただきたい情報を公開しました。

<https://www.bbsec.co.jp/report/telework/>



The screenshot shows a web page titled "レポート" (Report) with a sub-header "Report". The main content is "テレワークにおける情報セキュリティ上の考慮事項" (Security Considerations for Telework). The page is divided into several sections: "技術面の課題" (Technical Issues), "統制面の課題" (Control Issues), and "個人端末利用" (Personal Device Usage). The "個人端末利用" section includes a list of measures to take when using personal devices for work, such as prohibiting USB storage and electronic media use, and ensuring data is only used for business purposes.

レポート
Report

HOME > レポート > テレワークにおける情報セキュリティ上の考慮事項

レポート
レポート
SQAT セキュリティレポート
SQAT 情報セキュリティ互版
ユーザー事例

サービス
サービス一覧
セキュリティ評価/コンサルティング
教育/情報提供
セキュリティ認証取得/準拠支援
脆弱性診断
脆弱性診断保守
緊急対応支援
セキュアメール
セキュリティ運用

RECOMMENDED
@ プレスリリース
ユーザー事例

技術面の課題
オフィス以外で利用される端末や会社のシステムと接続するためのネットワーク、協同作業のためのファイルの共有など

統制面の課題
セキュリティ維持の、していったらよいか、しておくべきかなど

個人端末利用
やむをえず、個人が、について、解説しま

個人端末利用
1. 個人所有の端末で自宅の接続環境から業務せざるをえない場合の代替措置

会社の管理物以外のUSBメモリ等、電子媒体使用禁止

- 個人所有のUSBメモリなどを絶対に使用しない
- USBメモリが必要な場合は会社に許可されたものに限定する

原則的に端末にはデータを保管しない

- 業務データは、会社が指定したファイル共有サービスへ保存する
- 業務のために一時的に端末に保存することはやむをえないが、業務が完了すれば、所定の共有/個人フォルダに戻し、端末上から削除する

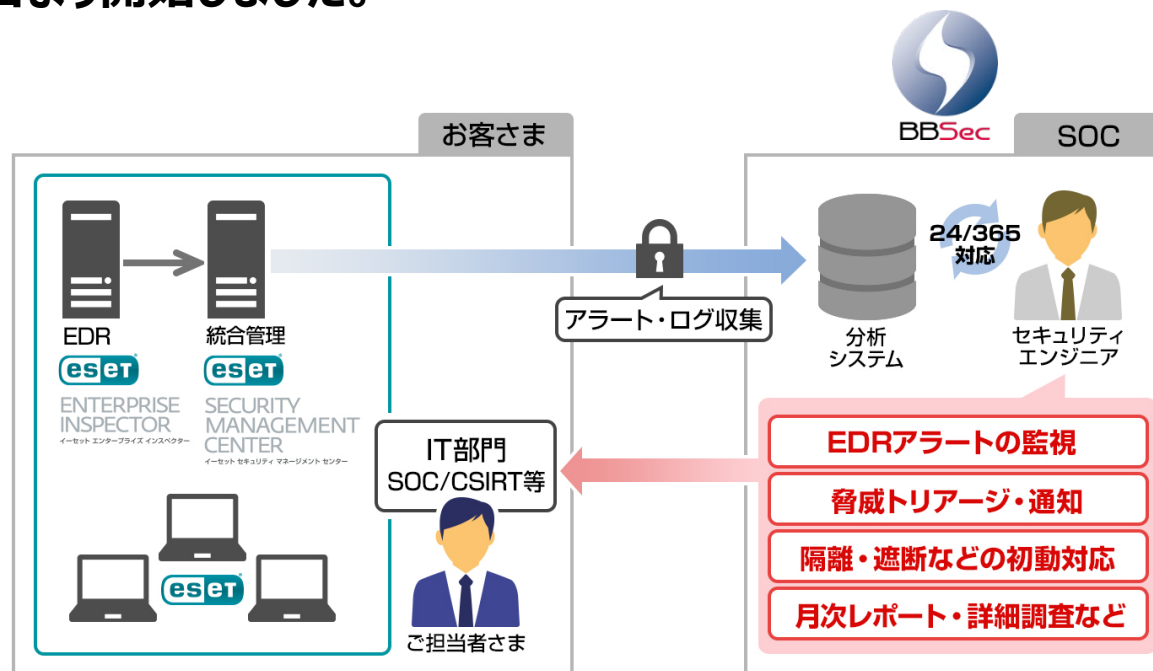
端末は業務にのみ使用すること

キャノンMJの「EDR運用監視サービス」に当社マネージドセキュリティサービス採用（2020.4.21）

高度化、巧妙化し続けるサイバー攻撃に対し、防御を中心とした事前対策だけでなく、侵害発生 of 早期検知・対応・復旧などの事後対策の重要性や必要性に迫られており、EDR※製品やそれを用いたマネージドセキュリティサービスの需要が高まっています。

こうした背景を受け、キャノンMJと協業し、「ESET Enterprise Inspector」向けのEDR運用監視サービスを5月8日より開始しました。

※EDR
Endpoint Detection & Response の略。
エンドポイントで脅威を検知して
事後対策を支援する製品。



2020年6月期 第3四半期 業績サマリー

トピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて



会社概要

会社名

株式会社ブロードバンドセキュリティ (略称：BBSec)
BroadBand Security, Inc.

本社所在地

東京都新宿区西新宿8-5-1
野村不動産西新宿共同ビル4F (〒160-0023)

URL

<https://www.bbsec.co.jp/>

設立

2000年11月30日

資本金

2億8,384万円

決算期

6月

株式公開情報

市場：東京証券取引所 JASDAQスタンダード市場
上場日：2018年9月26日
株式コード：4398

従業員数

210名

代表者

代表取締役社長 持塚 朗

事業内容

1. セキュリティ監査・コンサルティングサービス
2. 脆弱性診断サービス
3. 情報漏えいIT対策サービス

事業所

国内：天王洲オフィス、大阪支店、名古屋支店
海外：韓国支店
オペレーションセンター：1 拠点 (東京都内)

(2020年3月末現在)

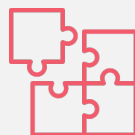
ブロードバンドセキュリティ（BBSec）とは

セキュリティ対策の可視化から運用までをトータルに支援する、セキュリティサービスプロバイダー



常にお客様に
寄り添い
現状の可視化から
日々の運用までの
ライフサイクルを
トータルに支援

セキュリティ対策の
現状調査・可視化
企画・検討



セキュリティ監査・
コンサルティングサービス

- セキュリティ・アドバイザー
- リスクアセスメント
- ウィルス感染チェック
- CSIRT 構築 / 運用支援
- セキュリティログ分析 / 活用支援
- PCI DSS準拠支援 / オンサイト評価
- 標的型攻撃メール訓練 他

脆弱性診断サービス

- WEB アプリケーション脆弱性診断
- ネットワーク脆弱性診断
- データベース診断
- スマホアプリ脆弱性診断
- パブリッククラウド向け脆弱性診断
- ソフトウェア品質自動分析診断
- WEB サイトコンテンツ改ざん検知 他

セキュリティ対策の
導入・運用



情報漏洩
IT対策サービス

- セキュアメール
- マネージドセキュリティ
- モダンマルウェア検知
- インターネット分離クラウド
- SIEM 運用 / 分析
- Splunk 自動遮断連携
- エンドポイントセキュリティ運用支援 他

※1 PCI DSS Payment Card Industry Data Security Standard ※2 CSIRT Computer Security Incident Response Team
※3 SIEM Security Information and Event Management

当社が多くのお客様から選ばれるのには、理由があります。

ニュートラル



最適な改善策を提示するために
欠かせないベンダーニュートラル性

技術対応力



経験、知識、情報網を核とした
最先端の技術対応力

信頼性



サービスご利用の高いリピート率が
示す高信頼性

ユーザーオリエンテッド



お客様個別のニーズやスピードに
お応えする柔軟な体制

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、業界並びに市場の状況、金利、為替変動といった国内、国際的な経済状況の変動により異なる結果を招く不確実性を含みます。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

また、当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

株式会社ブロードバンドセキュリティ

Internet mail: ir@bbsec.co.jp WEB: <https://www.bbsec.co.jp/>
東京本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-1 野村不動産西新宿共同ビル4F
TEL : 03-5338-7430